

パーキンソン病、非典型パーキンソニズムに対する拡散テンソル解析、VBMを用いた脳画像解析

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	パーキンソン病、非典型パーキンソニズムに対する拡散テンソル解析、VBMを用いた脳画像解析
倫理審査 受付番号	第2701号
研究期間	2017年 8月倫理審査承認日～2026年 3月31日
研究対象情報の 取得期間	下記の期間に脳神経内科を受診された、パーキンソン病、大脳皮質基底核症候群、進行性核上性麻痺の方 2012年 1月 5日～2026年 3月31日
研究に用いる 試料・情報	カルテ情報、頭部MRI画像
研究概要	(研究目的、意義)

パーキンソン病、CBS(大脳皮質基底核症候群)、PSP(進行性核上性麻痺)は、予後や治療法が異なり、初期段階での診断が重要です。

VBM(Voxel-based morphometry)は脳の形態学的解析を行う方法です。一方、拡散テンソル解析は、分子の拡散を解析し線維の方向を解析する方法です。さらにMRtrix3というソフトでは、交叉線維の解析も可能です。

この3つを用いて、CBDやPSPとパーキンソン病との鑑別を行うことが目的です。

(研究の方法)

通常の診療で行う頭部MRI検査(20分程度)に加えて、VBMと拡散テンソル、MRtrix3解析を追加します。時間は5分ほど余分に必要です。

(個人情報の取扱い)

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した(匿名化といいます)上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

**本研究に関する
連絡先**

兵庫医科大学病院 脳神経内科
木村 卓（研究責任者）
坂本 峻（研究担当者）

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1-1
TEL | （平日 9 : 00～17 : 00） 0798-45-6597
（上記時間以外） 0798-45-6111